

事業者向け 児童発達支援 自己評価表

公表 平成31年3月4日

事業所名 ここ ぷらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・2つある部屋を分けて使用出来ている	・元々、別の施設が使用していたので部屋の構造は合っていないが、子ども達に合わせた環境設定にしている
	②	職員の配置数は適切である	○		・休みの入れ替わりで勤務の調整を図っている	・利用者の特性によっては、配置が多い方が良い
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・視覚表示（絵・写真・文字）で分かりやすくしている ・バリアフリー化に適してはいるが、安全面を考慮し怪我や事故のない様に毎日清潔を保ちながら過ごしやすい環境を整えている	
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	○		・毎日掃除をしており、消毒もこまめにしている ・活動に合わせて部屋を使い分ける様にしている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・効率よく進める為に改善策を練りながら職員間で伝えあう場面が出てくる	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者向けにアンケートを行っている ・保護者からの貴重な意見を基によりよいサービス提供が出来る様、心がけている	
	⑦	事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・最新の評価に関する情報はリタリコ発達ナビで公開しており、事業所としての自己評価が良い方向へ向かう様に努めている	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・外部評価の意見を受け入れ改善の方向へ行ける様、努めている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月に1度行っている（療育・売上会議） ・外部研修や内部研修を設けている	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	○		・見学時や契約時に保護者ニーズを基に職員で共有しながら計画にも繋げている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・生活面や身辺自立等の状況が詳しく把握出来る様に管理しながら使用している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	○		・ガイドラインを参考にしながら1人ひとりの支援に合った目標設定が出来る様、計画を立てている	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・計画を基に各担当職員が毎月、支援や活動内容の見直しを行っている ・可視化しながら目標に沿った活動提供や記録への記載が出来ている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・カリキュラムや目標設定を3事業所で共通して考えている ・集団活動ではその日のリーダー担当が中心となって活動内容を決めている	
	⑮	活動プログラムを固定化しないよう工夫している	○		・月ごとに予定計画を立て行っている ・子ども達が飽きない様、色々な方法を取り入れながら活動内容を決めている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・個別で出来る事、集団で出来る事を目標設定し組み合わせながら作成している	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・活動のリーダーとなる職員が指示を出し、分担している	・全職員が揃わない日が多いが、普段から職員間で情報共有や確認し合う事は出来ている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			・全ての利用者について細かく振り返る事が時間的に難しい現状がある
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎日行っている ・次の支援に繋げられる様な記載が徹底出来ている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・電話または送迎時、面談時に個別支援計画を基にモニタリングを行い見直し等の計画を立てている	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・職員間での情報収集も含めて児発管が必ず参画する様にしている	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			・関わりは少ないが今後は連携が取れる様な体制を目指していきたい
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。	○			・該当者なしではあるが、連携や連絡体制は具体的には整えていない段階なので、今後視野に入れ該当者がいた場合、連携した支援を行っていく
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている	○			・該当者なしではあるが、連携や連絡体制は具体的には整えていない段階なので、今後視野に入れ該当者がいた場合、連携した支援を行っていく
	㉔	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・全ての関係機関と情報共有または相互理解が図れているわけではないが、必要事項は書面にて情報提供する事も出来る
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・保護者からの要望があれば対応しているが今後は積極的に出来るが良い
	㉖	他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			・今現在は関わりが少なく研修等は受けられていない
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	○			・機会があれば双方の刺激があると思うのでぜひ取り入れていきたい
	㉘	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			・参加出来る機会は少ないが、案内があれば積極的に参加していきたい
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・送迎時にはその日の様子を伝えたり、家庭での様子を聞く等している ・保護者となるべく言葉を交わす事で安心した生活が遅れる様、成果等も踏まえてやり取りしている
保護者への説明責任	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			・家族支援の重要性はあるので更なる知識や経験を積み重ね、今後取り組んでいきたい
	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明を行っている	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			・必ず保護者に確認して頂き、同意を得ているが直接説明する機会が多くないので時間の確保を行い、丁寧な説明が出来る様にしていく
	㉝	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・連絡帳等で随時、相談に応じている ・全員ではないが相談があった場合には、すぐに職員間で共有し適切な対応が出来る様、努めている	
	㉞	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・親子で参加出来る活動を取り入れていく予定や計画がある	・イベントを通して保護者や職員と交流が持てる様に密に計画を立て、随時保護者に知らせていく必要がある
	㉟	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・早急な返答や対応を行い、よりよい支援の提供が出来る様、的確に行っている

任 等	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月に1回、イベント案内や活動内容の提供、その他の情報があれば発信している	
	③8	個人情報に十分注意している	○		・外部へ情報が漏れる事のない様、保管や管理の仕方は徹底している	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・状況に合わせてサポートしながら関係性がしっかり作れる様、やり取りを行っている	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・地域の人も含めた関わりは今後取り入れて運営していきたい
非 常 時 の 対 応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・事業所としては、マニュアルの読み合わせや振り返りを行っている	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている		○	・年に1回以上、利用者と防災センターへ行き必要な訓練は全て行っている	・訓練の回数は増やした方が良い
	④3	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・該当者がいた場合、2人体制で確認する様、徹底している	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・医師の指示に基づいた保護者からの指示で対応している	・保護者判断の場面もあるので、病院受診を勧めた上で感染症等の流行にならない様、促していく必要がある
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・毎日行っている ・実際に起きた事例を共有し、再発防止に向け対策している	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・年に1回以上、外部講師による研修の確保を考えている	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	○			・身体拘束が必要な利用者は現在いないが、組織決定のもと説明や計画等への記載をする様、重視している